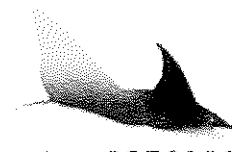
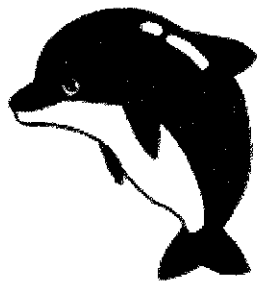


特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ  
2017年度（平成29年度）  
通常総会



日時：2017年6月16日（金）14：00～17：00  
場所：NPO法人 沖縄県自立生活センター・イルカ事務所内



# 平成 29 年度 通常総会式次第

司会：宮城 秀明

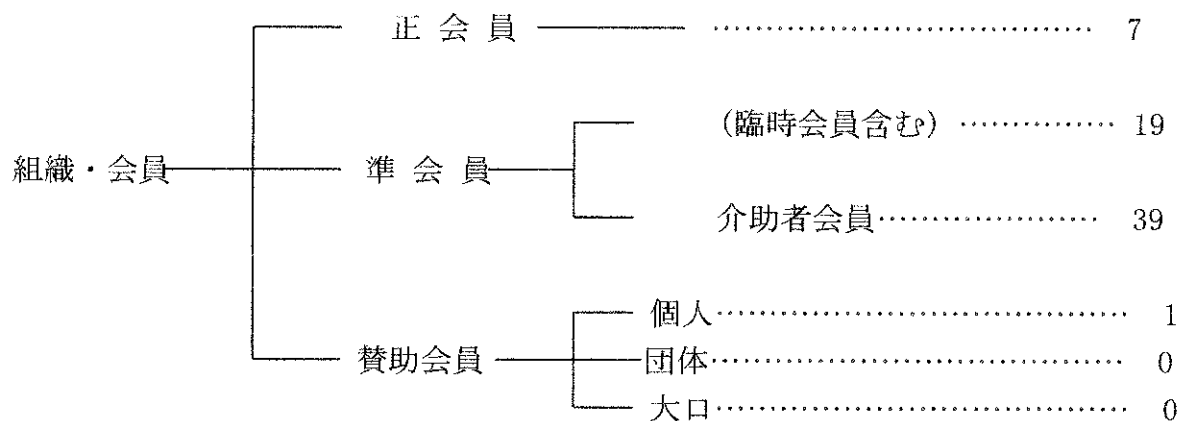
1. 開会の挨拶 ..... 代表 長位 鈴子
2. 議長選出
3. 議事録署名人（2名）及び書記（1名）選出
4. 議 事
  - (1) 平成 28 年度 事業報告 ..... 各担当者
  - (2) 平成 28 年度 決算報告並びに会計監査報告 ..... 会計主任 島袋洋祐
  - (3) 平成 29 年度 事業計画（案） ..... 各担当者
  - (4) 平成 29 年度 予算（案） ..... 会計 富里和幸
5. 質疑応答 ..... 議 長
6. 一括承認 ..... 議 長
7. 閉会の挨拶 ..... 代 表 長位 鈴子

※ 総会終了後、懇親会を行いますので是非ご参加ください。

☆ ☆ ☆ 懇 親 会 ☆ ☆ ☆

2017(平成29)年度 事業報告書  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 組織と会員数



2. 職員数

会員の生活形態

	職員数 ①	退職者 ②	合計 ①-②=③	備考
常勤職員	6	2	8	
非常勤職員	0	0	0	

	男	女	合計	備考
自立生活者	9	8	17	
家族同居者	2	2	4	
施設・病院	0	0	0	

# 平成 28 年度 事務局活動報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

月日	内 容	月日	内 容
<b>平成28年</b>		6/30～3日	ジェンセン氏(アメリカ)ADA研修
<b>【4月】</b>		4日	記者会見(堀)
1日	障害者差別解消法施行パレード	8日	7月追加定例会
4～6日	定例会	13日	第5回理事会
12～14日	介助実技講習会	14・15日	JIL知的プロジェクト(大川)
13日	第1回理事会	16・17日	ピープル実行委員会 横浜 (大川、池田)
19～22日	重度訪問介護従業者養成講座	23・24日	生活介護企画キャンプ 県民の森
<b>【5月】</b>		26・27日	宜野湾市はごろもチャレンジ隊 受け入れ
1～3日	定例会	27～8/31	CIL静岡より研修生受け入れ
9日	JIL常任委員会(長位)	28～30日	自立生活塾 キャンプ
11日	第2回理事会	<b>【8月】</b>	
19・20日	JIL知的プロジェクト(大川)	1～3日	定例会
21日	福祉労働シンポジウム 東京 (長位、照屋、仲地、桑江、呉屋)	8日	8月追加定例会
23～25日	推進新人・中堅研修 川崎 (長位、照屋、仲地、桑江、大嶺)	9日	職場体験受け入れ 小学生1名
<b>【6月】</b>		9～12日	介助実技講習会
1～3日	定例会	10日	第6回理事会
8日	第3回理事会	10日	沖縄バス職員研修
10日	6月追加定例会	14～16日	介助実技講習会
18日	障害平等研修 (國場、勝連、山口、山川、マルコ)	15～19日	重度訪問介護従業者養成講座
20日	JICAエンパワメント研修	18・19日	自立生活塾 ワークショップ
21日	障害とコミュニティ 沖縄大学 (長位、大川、マルコ)	19・20日	PFJ緊急事務局会議 横浜 (大川、池田)
22日	浦添市長へ移動介護についての要 請	22日	登用試験
24日	第4回理事会(臨時)	<b>【9月】</b>	
24日	通常総会	8/31・1・2	定例会
25～27日	ピープルファーストジャパン総会 (大川、池田)	12日	県議会議長訪問
26～30日	JIL総会 静岡(長位、照屋、國場 山口、上原、仲村渠、山家、當山)	13・20・21	介助実技講習会開催
<b>【7月】</b>		14日	NHK取材 相模原事件について
6/29～1日	定例会	14日	第7回理事会
		15日	ポッチャ大会
		18～19日	JIL常任委員会(長位、呉屋)
		19～22日	ピープルファーストジャパン大会 横浜

月日	内 容	月日	内 容		
20～23日	推進中堅・代表研修(長位、呉屋)	<b>平成29年</b>			
24日	生活介護企画 BBQ参加				
<b>【10月】</b>					
1～22日	台湾研修生受け入れ			4日	仕事始め
7.11.13日	定例会			9日	沖縄テレビ取材 (インクルーシブ教育)
11～14日	重度訪問介護従業者養成講座			10日	エンパワメント沖縄 JICA受け入れ
19～21日	CILてくてく訪問(長位)			11日	第11回理事会
21日	第8回理事会			13～15日	PFJ広島 (大川、池田)
31.11/1	CILまんだ訪問(長位、照屋)			15～30日	ネパール視察(長位、照屋、早坂)
<b>【11月】</b>				17日	新春かきぞめ会
1～2日	定例会			21日	JICA受け入れ
9日	第9回理事会			<b>【2月】</b>	
10.11日	追加定例会			1～3日	定例会
15日	沖縄バス職員研修			8日	第12回理事会
17日	労働基準局監査			12日	平等絵本読書会(宜野湾市)
17～20日	CILまんだ研修生来センター			12日	JICA講演会
19日	インクルーシブ大運動会			14日	JICA受け入れ
25～27日	JILユースプロジェクト IL合宿			17日	JICA研修報告会(長位、マルコ)
28～30日	推進新人・中堅研修(長位、山口 玉城、新城、仲地、呉屋、マルコ)			19日	事務所LED電気切り替え
28～30日	相談支援専門員現任研修(仲松、早坂)			20日	沖縄バス職員研修
<b>【12月】</b>				<b>【3月】</b>	
1～2日	定例会			10～12日	PFJ広島実行委員会(大川、池田)
13日	中部圏域フォローアップ研修(上里)			13～15日	定例会
13日	適職発見フェア参加(山口、小橋川)			16日	登用試験
14日	第10回理事会			16～17日	JIL常任委員会(長位、喜納)
15～18日	熊本被災地センター訪問(長位、 照屋、伊禮、仲地、勝連、関口)			21～24日	重度訪問介護従業者養成講座
16日	忘年会			23日	沖縄バス職員研修
19～21日	JIL全国セミナー(長位、國場 伊禮、照屋、仲地、勝連、関口)			23日	集団指導参加(大湾、嶋袋、早坂)
23・24日	インクルーシブ教育in沖縄 講演	25日	ピアカウンセリング公開セミナー		
27・28日	1月定例会				
28日	仕事納め				

# 平成 28 年度 ピアセンターイルカ

## 相談支援事業（事業報告）

### ピアセンターイルカの事業内容と説明（図 1）

#### <基本相談支援（委託相談支援）・障害児相談支援>

自立生活を共に実現していく為に、障害当事者や家族、関係機関（病院、行政、事業所）等からの相談に応じ、本人を中心として必要な情報の提供、社会生活を高める支援、助言、権利擁護、専門機関等と連携を図りお互いにエンパワメントしていく視点を重視しています。また、相談支援事業を効果的に実施する為、自立支援協議会の運営、社会資源の開発や改善を推進していく役割があります。

#### <計画相談支援・障害児計画相談支援>

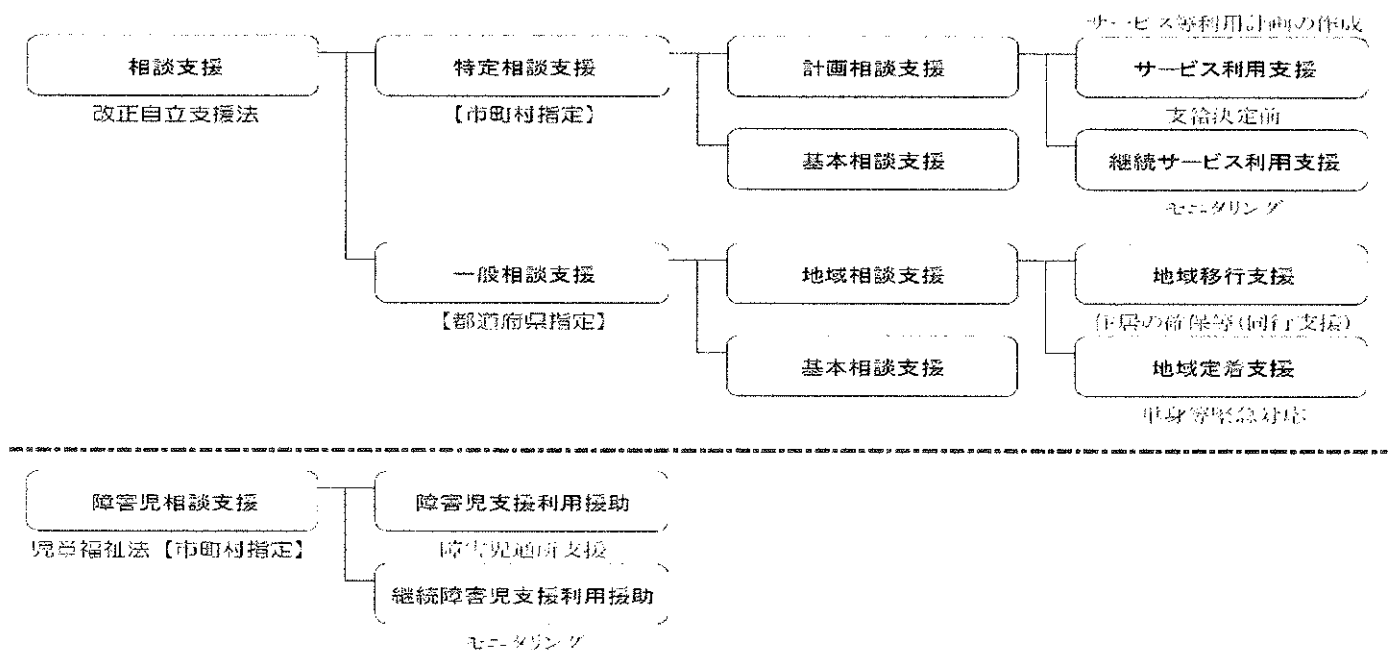
障害当事者や家族からの相談に応じ、心身の状況や家族状況、どういう生活をしていきたいのか想いを聞き取り、サービス等利用計画を作成していきます。障害者（児）の自立生活に対する一人ひとりの想いを関係機関と共有し、想いを実現する為の方法を一緒に考えていきます。

#### <地域移行・地域定着支援>

地域移行支援…入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって本人と共に自立生活の実現に向け共に取り組んでいきます。

地域定着支援…入所施設や精神科病院から退所・退院した方、家族との同居から一人暮らしになった方、地域生活が不安な方に対し、24 時間の連絡体制及び支援体制を整えるシステムです。

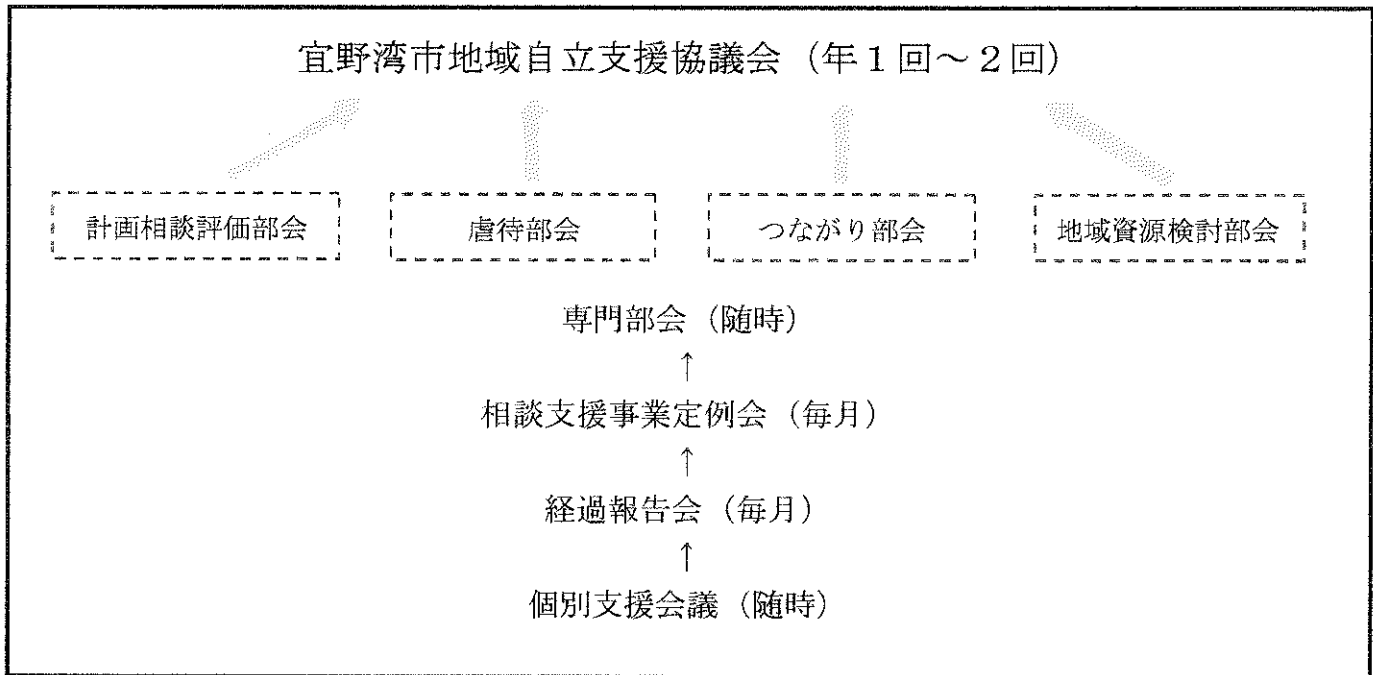
図表 1 「障害者自立支援法改正後の相談支援の体系



※自立支援法のサービスは自立支援法の相談支援で対応

# 平成 28 年度 宜野湾市地域自立支援協議会

## 宜野湾市地域自立支援協議会と相談支援の流れ



## 宜野湾市地域自立支援協議会とは？

障害のある人もない人も共に暮らせる地域をつくるため、様々な職種の関係機関が情報を共有し、地域の課題解決に向け協議を行うための会議です。

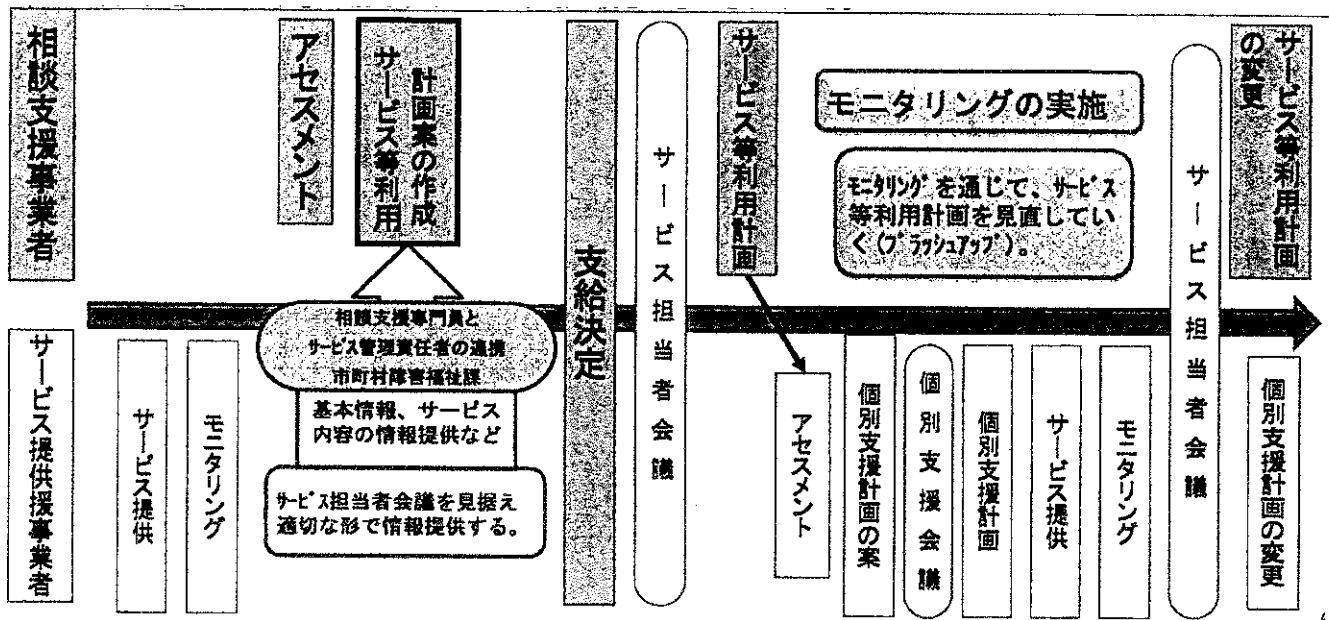
- ① 情報機能／地域の現状、課題等の情報共有と情報発信
- ② 調整機能／地域の関係機関によるネットワーク構築・支援のあり方に対する協議や調整
- ③ 開発機能／社会資源の開発・改善 課題解決に向け専門部会の設置
- ④ 教育機能／構成員の資質向上の場
- ⑤ 権利擁護機能／権利擁護に関する取組の展開
- ⑥ 評価機能／委託相談支援事業者の運営評価等

## 宜野湾市地域自立支援協議会の構成員

- ① 委託相談支援事業所 代表（イルカ、グリーンホーム）
- ② 地域活動支援センター 代表（はびわん）
- ③ 医療関係者（玉木病院）
- ④ 民間事業者（不動産業者会、就労支援事業所）
- ⑤ 行政（福祉関係各課、教育委員会、ハローワーク、警察署、消防、社会福祉協議会）



★指定特定相談支援事業者（計画作成担当）と障害福祉サービス事業者の関係



サービス等利用計画とはご本人が中心となって相談支援専門員と共に作成するものであり、生活介護や居宅介護などの個別支援計画はサービス管理責任者、サービス提供責任者が作成します。

サービス等利用計画は、本人支援のための中心的な総合計画(トータルプラン)として作成され、他の計画はその中にそれぞれ個別の支援計画として位置づけられています。

相談支援専門員は各サービスの個別支援計画とサービス等利用計画との間にくいちがいがないように、サービス提供事業者と計画の内容についてご本人またはご家族を含めたサービス担当者会議で共有していきます。

平成28年度 宜野湾市障害者相談支援事業実績報告書

実施主体	宜野湾市				
事業を実施する施設及び所在地等	ピアセンターイルカ 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1 (2F) 実施期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日				
延べ利用者数	686 人	実利用者数	149 人		
	相談支援員	専従:相談支援専門員 2 名			
相談支援事業	延べ利用者数	686 人			
・訪問	(延べ件数)	204 人			
・来所	(延べ件数)	12 人			
・同行	(延べ件数)	51 人			
・電話	(延べ件数)	93 人			
・メール	(延べ件数)	4 人			
・会議	(延べ件数)	111 人			
・関係機関	(延べ件数)	199 人			
・その他(連絡調整など)	(延べ件数)	12 人			
相談内容別件数(延数)					
申請	手帳	1 件	生活環境	家庭問題	10 件
	福祉制度	322 件		育児	2 件
	その他	30 件		教育	12 件
社会復帰	就労	20 件		金銭	14 件
	住居	0 件		生活	42 件
	その他	0 件		老人精神保健	0 件
依存	アルコール	0 件	その他	医療・服薬	109 件
	薬物	0 件		施設	57 件
	その他	1 件		権利擁護	4 件
こころ	思春期	0 件		障害者虐待	4 件
	心の健康	19 件		その他	147 件
	ひきこもり	0 件			
	自殺	0 件			
	いじめ	0 件			
	その他	5 件	合計	799 件	
その他の活動について					
<ul style="list-style-type: none"> <li>宜野湾市自立支援協議会(全大会)、協議会へ向けて打合せ</li> <li>宜野湾市相談支援専門員定例会及び経過報告会</li> <li>中部福祉保健所管内ネットワーク会議</li> <li>中部地区相談支援専門員研修会</li> <li>関係機関との連携、身体の障がいを持つ方への対応に関する助言など</li> <li>中部圏域相談支援部会</li> <li>相談支援事業 イルカ内部ケース検討・報告会</li> <li>親元、入所施設、精神科病院からの地域移行支援及び地域移行支援</li> <li>個別ケースの緊急対応(電話対応も含む)</li> <li>おきなわ障がい者ネットワーク総会</li> <li>虐待防止と権利擁護研修会</li> <li>宜野湾市相談支援コンサルテーション</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>中部圏域自立支援連絡会議 相談支援部会</li> <li>中部圏域自立支援連絡会議(当事者コア会議)</li> <li>個別支援会議(随時)</li> <li>緊急対応(電話対応等も含む)</li> <li>計画相談部会(ワーキング)</li> <li>居住部会</li> <li>地域移行ワーキング</li> <li>相談従事者現任研修</li> </ul>		

<平成28年度の課題と改善方法に対しての進捗状況>

障害者相談支援事業所ピアセンターイルカ

課題①計画作成、モニタリングがスケジュール通り進められていない。

進捗状況：支援事業の職員配置も整い、システムを使って管理・運用が順序よくできている。個別の事情に応じて、モニタリング時期の変更も役所へ相談交渉できおりスムーズに進めることができている。

課題②イルカ内部のみでの関係にとどまらない。イルカの理念を伝えながら、他機関や地域の人たちとの関係を深めていく。

改善方法：当事者部会の立ち上げなど、当事者が企画段階から主体となり進めていく。また地域行事等の関わりからつながりを広げていく。

進捗状況：H28年度8月、支援部会当事者コア会議のメンバーが中心となった研修（当事者が計画相談員として思う事について。2部構成）が一度設けられた。その他、市内行事等に出向き多職種他機関の関わりを広げつつある。

課題：今後も継続していくことが重要である。

沖縄県内相談支援事業所の課題

課題①当事者が希望するセルフプランが認められない事が多い（セルフプランを受け付けない、望んでいないサービス申請を促される等）。

改善方法：当事者と共に作成し自身の想いを発信していけるよう、共に力をつけて行く。  
各市町村へ、セルフプランの受け入れを随時交渉していく。

進捗状況：市町村によってセルフプランの受け入れが難しいという現状がある。

課題：セルフプランは全て本人の一律自己責任と捉えられがちである。また、セルフプランのフォロー体制がどうなっているのか明確でない。自宅訪問等行政からのアプローチも必要である。その人によりセルフプランに移行する過程で、何かあった時のことを一緒に考えていきながらプランを組み立てていくことが必要であり、それが本当の自己責任のあり方である。また、セルフプラン作成者自身がロールモデルを見つけて、相談できる人を見つけることも大切である。また、自分で決めたいこと、相談したいことを自身で整理していく力も必要である。また、自信をもって他機関とのやり取りを細く長く続けていく力も必要である。

課題②児童の計画相談員が不足している、あるいは他事業所の相談員の動きが十分でないということで、ピアセンターイルカへ計画相談の依頼がある。

課題：学校側によっては話し合いの場を持ちたいという声があがっているのにも関わらず、計画相談員の技量により調整等に時間を要し、実現できていない状況がある。ピアセンターイルカでは人材不足により受け入れが困難な状況である。

改善方法：まずは市内の計画相談支援事業所に対し計画ワーキングの研修等で、本人中心とした関わりや動きができる様共有していく。また、相談があったご本人・ご家族には必要に応じ当事者との関わりをもちながら、ご本人・ご家族を中心とした解決に向かう動き等の方法を共に模索していく。

<平成 29 年度に取り組むこと>

- ① 昨年度に引き続き、イルカ内部のみでなく、まずは宜野湾市内の事業所を知り、他機関や地域の人たちとの関係を深めていく。
- ② 1人で抱え込まず、内部で情報共有や連携を図る。
- ③福祉制度や法律等様々な研修に参加し、情報共有を図る。

平成28年度 障害者社会活動推進事業 相談件数一覧表  
(障害者人権・権利擁護事業)

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ

対応内容		援助内容	
訪問	66件	手帳	件
来所	17件	福祉制度	51件
同行	30件	その他	1件
電話	67件	小計	52件
メール	57件		
会議	36件	就労	件
連絡	56件	住居	
研修	件	その他	件
その他	25件	小計	
合計	354件		
※(延べ件数)		アルコール	件
		薬物	件
		その他	件
		小計	件
		思春期	1件
		心の健康	件
		ひきこもり	件
		自殺	件
		いじめ	件
		その他	件
		小計	1件
		家庭問題	件
		育児	件
		教育	件
		金銭	件
		生活	13件
		老人精神	件
		医療服薬	件
		施設	件
		成年後見	件
		その他	54件
		小計	67件
		合計	120件

# 平成 28 年度ピア・カウンセリング公開セミナー 報告書

## I 事業内容

事業名：ピア・カウンセリング公開セミナー

日時：平成 29 年 3 月 25 日（土）

場所：沖縄県自立生活センター・イルカ 2 階研修室

参加人数：11 名（男性 4 名、女性 7 名）

講師：NPO 法人 PAI おきなわ 山口 彩夏氏  
沖縄県自立生活センター・イルカ 仲地 由衣氏

## II 事業費

総事業費	助成金対象額	自己資金
0 円	0 円	0 円

## III 実施内容及び成果

平成 29 年 3 月 25 日、沖縄県自立生活センター・イルカ事務所 2 階にて開催。

今回のピア・カウンセリングは形式を変え公開セミナーとし開催。障害有無に関わらず参加できるようなセミナーとしたため、参加者も障害あるなし関係なく参加していた。

### 【効果】

効果としては、本来ピア・カウンセリングは障害当事者のみの参加となる。しかし今回は公開セミナー形式にしたことにより、障害の有無に関係なく誰でも参加することができた。ピア・カウンセリングがなぜ必要なのか、どうして障害当事者のみの開講なのか、ピア・カウンセリングを通して障害当事者がどのようにエンパワメントしていくのかを伝えていくことでピアカンの重要性を伝えられたのではないかと思う。参加者からも納得の声や、またやってほしいといった声が挙がっていたのでうれしく思う。

### 【反省点】

反省点として助成金を毎回申請してからの開催を行っているが、今年度の申請をすることができず、次回からの申請を怠らないように努めていく必要がある。

## 平成 28 年度 介助実習報告書

### 報 告

- 介助実習回数 3回（4月、8月、9月）
- 介助実習受講生 6人（男性3名、女性3名）

### 効 果

・介助実習を通し自立生活センターの歴史、理念、活動内容を理解することができ、障害当事者がなぜ自立生活を始めたのか、介助者を利用しながら地域生活を継続していく必要性などを当事者から伝えることができ学ぶ機会を持てた。また、基本の介助方法や身体の動かし方、介助のエチケットを学び、今後の介助に生かしていける基礎を作り上げることができた。

### 課 題

- ・受講生に合わせた伝え方や研修内容を考えていく必要がある。
- ・身体のボディメカニクスを今よりもっと細かく実践していく時間をとる必要がある。
- ・介助実習を担当する当事者を増やしていき、それぞれが自分なりの言葉で伝えられるようにする。

平成28年度 事業総括  
沖縄県自立生活センターイルカ 事業報告

## 地域で生き抜くためのエンパワメント

### 1、障害者主体とは

#### (自己選択・自己決定・自己責任)の地域生活

##### 自立とは

- ・自己の地域生活を豊かにし、介助者をきちんと研修し、障害者自身の社会生活の後「夢を実現すること」「失敗をしても他人の責任にはしない」といった互いで自己責任について理解できるような研修等、試行錯誤してきた。
- ・意思決定をしていく上で、日常に関わる人たちの意見に左右される障害者が多くいる。なぜだろうかと考えると「介助が組めない」「この介助者には言えるけど、あの介助者にはいいにくい」等と、他人の顔色を伺いながらの予定変更に疑問を感じる。

### 2、組織の決定権は障害者主体を継続している

・イルカを中心に、希輝々、スカイプ会議で南十字星、まんだで月1回の理事会を行っている。(運営方針、人事、経費、処遇、各担当者の役割、ILの必要な方)などを決めている。しかし、課題はイルカの内容が多くあり、希輝々、まんだ、南十字星は報告だけになっていることで小さな問題を見逃し、介助者不足や超過勤務の長期化、障がい者が自立生活センターを離れて他の施設を利用するなど。

県内で各団体の問題を丁寧に相談し合える、また代表、事務局長の育成(問題の分析、制度の活用、他団体に気軽に相談)をしていくこと、不安要素が出た時には瞬時に解決できるような信頼関係をつくりあげることが急務である。

・理事役員の中でも情報共有ができていなくて、誤解から生じる不信感になることを、改めて行かなければならない。

・ヘルパー派遣で超過になり、一番大切な社会を変える運動が縮小していることと同時に参加する人たちも限られてきている。

・那覇にある自立生活センターインクルーシブの指定相談事業は1年間休止させてきたが相談支援専門員の配置が難しいと判断し、新年度に那覇市に廃止届を出した。理事会から宮城秀明事務局長を中心に継続的に話しあい、自立生活センターインクルーシブの責任者育成をしつつ、主体性を定期的に精神障害者に対して病院訪問でピアカウンセリングを継続している。



## 介助者不足について

慢性的に介助者不足は深刻な課題である。

特に、女性介助者の定着ができないのはなぜなのか改善していく点を理事役員がもっと考えていかなければならない。常勤スタッフの勤務時間も含め長時間になっていること、シフトを組んでいる人たちも偏りがみえることを次年度の課題として、早急に理事会で取り組む。

◎シフトの組み方 ◎モチベーションの保ち方 ◎定例会の参加義務

◎介助者のできる時間帯と利用者の必要時間帯のミスマッチや CN の精神的ゆとりがない中で、不安に思っても相談できる体制が不足している。

お互いの多忙な業務であっても信頼関係をつくっていくため、普段から報告・連絡・相談ができるようにしていく事が、今年度の課題の大きなテーマになる。

## 3. 障害がある者同士の種別を超え、自己信頼と他者への理解

熊本地震募金や他イベントも担当者を任せることにより、責任感ができた。

熊本地震障害者救援募金（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 13 日）

イルカ職員、街頭募金、店頭募金箱設置、商店街呼びかけ、その他

熊本地震障がい者救援基金入金状況		
入金日		入金額
4/28	木	119,248 円
6/13	月	81,704 円
7/11	月	86,784 円
8/8	月	94,679 円
9/1	木	76,991 円
3/2	木	112,182 円
総額		571,588 円

多くの心温まるお言葉と共に、募金ができたことに感謝いたします。その甲斐あって「**熊本障害者被災地センター**」が益城町に設立されました。

### ・自立生活塾(子どもゆめ基金より助成)

平成 28 年 7 月 8～10 日 自立生活塾（キャンプ形式 あやかりの杜）

平成 28 年 8 月 18～19 日 自立生活塾（ホームステイ形式 沖縄国際大学）

### ・みんなでインクルーシブ大運動会(子どもゆめ基金より助成)

平成 28 年 10 月 8, 16, 22, 30 日, 11 月 5, 13 日 実行委員会

平成 28 年 11 月 19 日 運動会（伊佐第二児童公園）

### ・インクルーシブ教育 in 沖縄 フォーラム(推進協会より助成)

平成 28 年 10 月 10 日、12 月 6 日、13 日 実行委員会

平成 28 年 12 月 23 日

フォーラム (琉球大学)

・絵本読み聞かせ会(子どもゆめ基金より助成)

平成 29 年 1 月 28 日、2 月 12 日 宜野湾市立図書館

4、海外障害者自立支援

・ネパールポカラ 3 年間支援……1 年目総括 別紙参照

JIL 九州ブロック支援団体……12 団体(一団体年間 120,000 円)より支援金として徴収し、年 3 回に分けてネパール・ポカラに送金

- ① 平成 28 年 5 月 6 日 487,111 円
- ② 平成 28 年 12 月 1 日 492,561 円
- ③ 平成 29 年 2 月 7 日 547,871 円

・台湾若手育成事業 (琉球銀行助成金)

平成 28 年 10 月 台湾より障害当事者 4 名、介助者 1 名受け入れ

・韓国訪問・見学 2 グループ

・JICA 沖縄とエンパワメント沖縄

A コース……平成 28 年 5 月 18 日～平成 28 年 6 月 25 日

B コース……平成 28 年 8 月 17 日～平成 28 年 9 月 24 日

C コース……平成 29 年 1 月 11 日～平成 29 年 2 月 18 日

・JICA 草の根技術協力事業

平成 28 年 10 月 12 日～平成 30 年 10 月 11 日まで

「ネパール障害当事者による震災被災障害者のエンパワメントと主流化」

・平成 29 年 1 月 15～30 日まで ネパールへ行き現地視察を行った。

# 活動決算報告書

第 18 期

自 平成28年 4月 1日  
至 平成29年 3月 31日

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ



平成28年度 特定非営利活動に係る事業 会計財産目録  
平成29年 3月31日現在

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ  
(単位:円)

科 目	平成29年3月31日現在		
	(金 額)		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	11,803		
普通預金	8,408,200		
定期預金	12,148,803		
未収入金	7,862,688		
立替金	0		
仮払金	696,368		
流動資産合計		29,127,862	
2. 固定資産			
建物			
1)倉庫(2006年取得)※1)	734,615		
減価償却累計額	△ 732,774	1,841	
工具器具及び備品			
1)電動ベット一式(2台)(1999年取得)※2)	1,105,000		
2)AED(2014年取得)※3)	687,960		
3)医療用人形(2012年取得)※4)	532,350		
4)点字プリンター(2013年取得)※5)	493,500		
減価償却累計額	△ 2,642,464	176,346	
敷金			
1)インクルーシブ事務所	180,000	180,000	
固定資産合計		358,187	
資産合計			29,486,049
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	45,280		
未払い金	2,843,166		
流動負債合計		2,888,446	
2. 固定負債			
長期借入金			
貸主:推進協会	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			4,888,446
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 前期末正味財産額		23,930,904	
2. 当期正味財産増加額(減少額)		666,699	
正味財産合計 ※6)			24,597,603
負債及び正味財産合計			29,486,049

※1) 倉庫:減価償却方法:耐用年数10年/定額法(償却率:0.1)で償却。当期償却額:66,115円。償却累計額:732,774円

※2) 電動ベット一式:全額償却(償却額:1,105,000円)

※3) AED(償却累計額:580,466円)

※4) 医療用人形:全額償却法耐用年数5年 定率法(償却率:0.5)。当期償却額:27,727円。償却累計額:504,623円

※5) 点字プリンター:全額償却法耐用年数5年 定率法(償却率:0.5)。当期償却額:41,125円。償却累計額:452,375円

※6) 正味財産合計=総資産合計-総負債合計



## 平成28年度 特定非営利活動に係る事業 貸借対照表

平成29年 3月31日現在

特定非営利活動法人  
 沖縄県自立生活センター・イルカ  
 (単位:円)

科 目	平成29年3月31日現在		
	(金 額)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	20,568,806		
未収入金	7,862,688		
立替金	0		
仮払金	696,368		
流動資産合計		29,127,862	
2. 固定資産			
建物	734,615		
減価償却累計額	△ 732,774	1,841	
工具器具及び備品	2,818,810		
減価償却累計額	△ 2,642,464	176,346	
敷金	180,000	180,000	
固定資産合計		358,187	
資産合計			29,486,049
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	45,280		
未払い金	2,843,166		
流動負債合計		2,888,446	
2. 固定負債			
長期借入金	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			4,888,446
III 正味財産の部			
1. 前期末正味財産額		23,930,904	
2. 当期正味財産増加額(減少額)		666,699	
正味財産合計			24,597,603
負債及び正味財産合計			29,486,049

※ 正味財産合計＝総資産合計－総負債合計





平成28年度 特定非営利活動に係る事業 活動計算書  
平成28年4月1日～平成29年3月31日

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ  
(単位:円)

(第18期) 収益の部

科 目	項 目	平成28年度決算	
I 経常収益			
1. 受取会費	会費収入	393,000	393,000
2. 受取募金	1)個人 2)団体 3)街頭募金		0
3. 受取寄付金		7,461,921	7,461,921
4. 受取補助金及び助成金等		10,472,264	10,472,264
5. 事業収益	1) アイ. エル. ピー(自立生活プログラム事業) 2)ピア. カウンセリング事業 3) 障害者相談支援事業 4)指定特定相談支援事業 5)指定一般相談支援事業 6)障害児相談支援事業 7)権利擁護事業 8)啓蒙・啓発活動事業 9)成年後見法人後見事業 10)その他	5,100,000 668,820 721,170 527,153 9,600,000	16,617,143
6. その他収益	1) 受取利息 2) 雑収入	36,194	36,194
	当期経常収益合計		34,980,522

※ 明 細

4. 受取補助金及び助成金等	1)ピアカウンセリング集中講座開催事業 (沖縄県社会福祉協議会) 2)沖縄県身体障害者等社会活動推進事業 (沖縄県) 3)その他	10,472,264	10,472,264
6. 事業収益 3)	1) 宜野湾市障害者自立支援法に基づく相談支援他 (宜野湾市.那覇市)	5,100,000	5,100,000
			15,572,264



平成28年度 特定非営利活動に係る事業 活動計算書  
平成28年4月1日～平成29年3月31日

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ  
(単位:円)

(第18期) 費用の部

科 目	項 目	平成28年度決算	
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費	1) アイ. エル. ピー(自立生活プログラム事業) 2) ピア. カウンセリング事業 3) 障害者相談支援事業 4) 指定相談支援事業 (特定. 一般) 5) 障害児相談支援事業 6) 権利擁護事業 7) 啓蒙・啓発活動事業 8) 成年後見法人後見事業 9) その他	6,505,885 13,989,435   32,400 1,958,278 100,000	22,585,998
2. 管理費	1) 給料手当 2) 法廷福利費 3) 福利厚生費 4) 車両費 5) 広報料 6) 慶弔費 7) 支払保険料 8) 研修費旅費交通費 9) 通信運搬費 10) 消耗品費 11) 水道光熱費 12) 新聞図書費 13) 支払会費 14) 支払手数料 15) 使用料 16) 支払リース料 17) 会議費 18) 減価償却費 19) 支払家賃 20) 退職共済掛金 21) 租税公課 22) 雑費 23) 保証料 24) 雑損失	2,337,514 3,470,700 116,044 495,555 6,808 6,000 257,630 100,520 864,303 195,058 191,905 87,788 118,000 56,202 6,900 267,168 39,190 242,461 2,521,920 275,000 600 24,762 9,660 36,137	11,727,825
	当期経常費用合計		34,313,823
	当期経常増減額		666,699
Ⅲ 経常外収益			0
Ⅳ 経常外費用			0
	当期正味財産増減額		666,699
	前期末正味財産額		23,930,904
	次期繰越正味財産額		24,597,603



## 監 査 報 告 書

私は、監事として、定款第46条の規定に則り、2016年度決算について、2016年4月1日から2017年3月31日までの事業年度にかかる当法人の事業執行および会計の状況に関する監査を実施した。

その監査の結果、業務執行に関しては、定款の活動目的に合致した業務が適正に行われ、会計の状況に関しては、事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録を精査したところ、各種手続きが適正に処理されていることを確認した。また財産運用および用途については、いずれも適正であることを認め、ここに報告する。

2017年5月12日

特定非営利活動法人

沖縄県自立生活センター・イルカ

監事

高嶺 豊 



## 平成 29 年度事務局活動予定

月	内 容			
4 月	3～5 日 13 日 19- 21 日 24 日 25～28 日	定例会 生活介護:ピクニック(美ら海水族館) 理事会 県庁記者クラブにてネパール支援の記者会見・募金活動 重度訪問介護養成講座 きょうされん沖縄支部定期総会 生活介護:ピクニック	随時 随時 随時 随時 随時 随時	個別支援会議 ILP ピアカン 新人研修 他団体研修等講師、 勉強会参加
5 月	1、2 日 10 日 23 日-25 日 25 日	定例会 理事会 推進研修 JICA エンパワメント研修会 介助者募集ちらし配り活動 イルカ監査 沖縄バス研修 推進新人・中堅研修 生活介護:体験学習、ユリの花見	随時 随時 随時 随時 随時 随時	個別支援会議 ILP ピアカン 新人研修 他団体研修等講師、 勉強会参加 大学講義
6 月	1～3 日 14 日 16 日 17 日～19 日 19 日～21 日 13 日 20 日 27 日 12 日	定例会 理事会 沖縄県自立生活センター・イルカ総会 ピープルファーストジャパン総会(福島県) JIL 総会(仙台) ぐしかわ看護専門学校 実習生受入(2人) JICA エンパワメント研修会 沖縄大学にて講義 ぐしかわ看護専門学校実習生受入 生活介護:イルカの総会、風船パレ	随時 随時 随時 随時 随時 随時 随時 随時 随時	個別支援会議 ILP ピアカン 新人研修 他団体研修等講師、 勉強会参加 大学講義 バス研修 緊急理事会 個別支援会議

7月	1日～3日	定例会	随時	大学講義
	12日	理事会	随時	ポパイ会議
	3日	ぐしかわ看護専門学校 実習生受入(3人)	随時	バス研修
	15～16日	生活介護:キャンプ	随時	条例事務局会議参加
	11-14日	高校生インターンシップ受入	随時	他団体研修講師、 勉強会参加
	3日 (予定)	ぐしかわ看護専門学校実習生受入 生活介護:証キャンプ ILP	随時	重度訪問従業者養成研修 個別支援会議
	随時	ピアカン		
	随時	新人研修		
	随時			
8月	1～3日	定例会	随時	重度訪問従業者養成研修
	9日	理事会	随時	他団体研修等講師、 勉強会参加
	18-21 (予定)	イルカ自立生活塾 生活介護:カフェ 緊急理事会	随時	大学講義
	随時	個別支援会議	随時	ポパイ会議
	随時	ILP	随時	バス研修
	随時	ピアカン	随時	条例事務局会議参加
	随時		随時	介助実習
	随時		随時	新人研修
	随時		随時	
9月	1～3日	定例会	随時	重度訪問従業者養成研修
	13日	理事会	随時	他団体研修等講師 勉強会参加
	19日 (予定)	ぐしかわ看護専門学校実習生受入 生活介護:BBQ	随時	大学講義
	随時	緊急理事会	随時	ポパイ会議
	随時	個別支援会議	随時	バス研修
	随時	ILP	随時	新人研修
	随時	条例事務局会議参加	随時	介助実習
	随時		随時	新人研修
	随時		随時	ピアカン
	随時		随時	



10月	1～3日	定例会	随時	重度訪問従業者養成研修 他団体研修講師、 勉強会参加 バス研修 条例事務局会議 参加 ピアカン 新人研修 介助実習 緊急理事会 個別支援会議
	4日-6日	高校生インターンシップ受入	随時	
	11日	理事会	随時	
	15日	JICA研修生(沖縄)	随時	
	24日-26日	高校生インターンシップ受入	随時	
	10日～(1ヶ月)	JICA研修生熊本訪問 生活介護:はごろ祭り	随時	
11月	9日	定例会	随時	重度訪問従業者養成研修 他団体研修等講師、 勉強会参加 バス研修 新人研修 ピアカン
	8日	理事会	随時	
	(予定)		随時	
	随時	避難訓練	随時	
	随時	緊急理事会 個別支援会議 ILP 生活介護:ボウリング	随時	
12月	1～3日	12月定例会	随時	介助実習 他団体研修等講師、 勉強会参加 大学講義 バス研修 新人研修 ピアカン
	13日	理事会	随時	
	28日	御用納め		
	(予定)	忘年会	随時	
	(予定)	緊急理事会	随時	
	18日-20日	JIL 全国セミナー(福岡)	随時	
	随時	個別支援会議	随時	
	随時	ILP	随時	
1月	4日	仕事始め	随時	新人研修 介助実習 他団体研修等講師、 勉強会参加 大学講義 バス研修 条例事務局会議参加 重度訪問従業者養成研修
	10日	理事会	随時	
	(予定)	ピアカン集中講座	随時	
	(予定)	生活介護:書き初め	随時	
		緊急理事会	随時	
	(予定)	個別支援会議	随時	
	随時	ILP	随時	
随時	ピアカン	随時		

	随時 随時			
2月	1～3日 14日 (予定) 随時 随時 随時 随時 随時	定例会 理事会 当事者エンパワメント研修 緊急理事会 個別支援会議 ILP ピアカン 新人研修 生活介護:新人交流会	随時 随時 随時 随時 随時 随時	重度訪問従業者養成研修 他団体研修等講師、 勉強会参加 大学講義 バス研修 条例事務局会議参加 新人研修
3月	1～3日 14日 (予定) (予定) 随時 随時 随時 随時 随時 随時	定例会 理事会 ネパール訪問 生活介護:つつじ祭り 緊急理事会 個別支援会議 ILP ピアカン 新人研修 介助実習	随時 随時 随時 随時 随時 随時	他団体研修等講師、 勉強会参加 バスモニタリング 重度訪問従業者養成研修
その他 予定	年3回	JICAの研修生受け入れ		

## 平成 29 年度 相談支援事業活動予定

月	内 容
4 月	<p>17 日 相談支援事業内部会議</p> <p>18 日 宜野湾市相談支援コンサルテーション</p> <p>19 日 宜野湾市委託相談支援経過報告会</p> <p>21 日 宜野湾市相談支援事業定例会</p> <p>27 日 宜野湾市計画相談ワーキング会議</p> <p>随時 個別支援会議</p> <p>随時 事業所・自宅等訪問、同行</p> <p>随時 緊急対応（電話対応含む）</p> <p>随時 各種勉強会、フォーラム等参加</p> <p>随時 ILP</p>
5 月	<p>9 日 宜野湾市就労支援事業所連絡会打ち合わせ</p> <p>15 日 相談支援事業内部会議</p> <p>16 日 宜野湾市就労支援事業所連絡会</p> <p>18 日 宜野湾市相談支援事業定例会</p> <p>19 日 宜野湾市相談支援経過報告会</p> <p>26 日 宜野湾市計画相談ワーキング会議</p> <p>30 日 宜野湾市重度心身障害児者宅訪問打ち合わせ</p> <p>随時 個別支援会議</p> <p>随時 事業所・自宅等訪問、同行</p> <p>随時 緊急対応（電話対応含む）</p> <p>随時 各種勉強会、フォーラム等参加</p>
6 月	<p>14 日 宜野湾市相談支援経過報告会</p> <p>15 日 宜野湾市相談支援事業定例会</p> <p>日 相談支援事業内部会議</p> <p>16 日 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ總會 (予定)</p> <p>随時 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援）</p> <p>随時 ケース検討会（内部研修）</p> <p>随時 個別支援会議</p> <p>随時 事業所・自宅等訪問、同行</p> <p>随時 緊急対応（電話対応含む）</p> <p>随時 各種勉強会、フォーラム等参加</p>

7月	19日 21日 (予定) 1ヶ月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時 随時	宜野湾市相談支援事業経過报告会 宜野湾市相談支援事業定例会  宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護(在宅支援) ケース検討会(内部研修) 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応(電話対応含む) 各種勉強会、フォーラム等参加
8月	16日 16日～18日 18日 (予定) 月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時 随時	宜野湾市相談支援事業経過报告会 相談初任者研修A日程(今年度該当者無) 宜野湾市相談支援事業定例会  宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護(在宅支援) ケース検討会(内部研修) 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応(電話対応含む) 各種勉強会、フォーラム等参加
9月	13日 15日 27日～29日 月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時 随時	宜野湾市相談支援経過报告会 宜野湾市相談支援定例会 初任者研修B日程(今年度該当者無) 宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護(在宅支援) ケース検討会(内部研修) 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応(電話対応含む) 各種勉強会、フォーラム等参加

10月	18日 20日 月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時	宜野湾市相談支援事業経過報告会 宜野湾市相談支援事業定例会 宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援） ケース検討会（内部研修） 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応（電話対応含む） 各種勉強会、フォーラム等参加
11月	15日 17日 月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時	宜野湾市経過報告会 宜野湾市相談支援事業定例会 宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援） ケース検討会（内部研修） 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応（電話対応含む） 各種勉強会、フォーラム等参加
12月	13日 15日 月に1回 28日 随時 随時 随時 随時 随時 随時	宜野湾市相談支援経過報告会 宜野湾市相談支援事業定例会 宜野湾市計画相談ワーキング 御用納め 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援） ケース検討会（内部研修） 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応（電話対応含む） 各種勉強会、フォーラム等参加
1月	4日 17日 19日 随時 随時 随時	仕事始め 宜野湾市相談支援経過報告会 宜野湾市相談支援定例会 宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援） ケース検討会（内部研修）

	<p>随時 随時 随時 随時</p>	<p>個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応（電話対応含む） 各種勉強会、フォーラム等参加</p>
2月	<p>14日 16日 （予定） 月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時</p>	<p>宜野湾市相談支援経過報告会 宜野湾市相談支援事業定例会  宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援） ケース検討会（内部研修） 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応（電話対応含む） 各種勉強会、フォーラム等参加</p>
3月	<p>14日 16日 月に1回 随時 随時 随時 随時 随時 随時</p>	<p>宜野湾市相談支援経過報告会 宜野湾市相談支援事業定例会 宜野湾市計画相談ワーキング 相談支援事業内部会議 相談及び障がい者権利擁護（在宅支援） ケース検討会（内部研修） 個別支援会議 事業所・自宅等訪問、同行 緊急対応（電話対応含む） 各種勉強会、フォーラム等参加</p>

**平成 29 年度 事業総括**  
**沖縄県自立生活センターイルカ 事業計画**

**1、人材育成について**

**障害平等研修(DET) ファシリテーター育成講座**

勝連文緒、

**2、海外支援について**

- ・ネパールポカラ支援金年間 120,000 円(予定)
- ・JICA 草の根協力事業 3 年間企画……ネパール被災障害者支援事業を 7 月契約締後、平成 29 年 1 月 15 日～平成 29 年 1 月 30 日に現地の 2 か所に事業説明とカウンターパートとして契約を行う。  
平成 29 年 10 月 10 日～11 月 10 日までネパールより当事者受け入れ。  
平成 30 年 3 月 日本の若手当事者がネパールに行く。
- ・エンパワメント沖縄と共同で海外支援を行う。JICA の研修生を受け入れる。
  - A コース 平成 29 年 5 月 17 日～平成 29 年 6 月 23 日
  - B コース 平成 29 年 8 月 23 日～平成 29 年 9 月 29 日
  - C コース 平成 29 年 1 月 10 日～平成 29 年 2 月 17 日
  - D コース 平成 29 年 11 月～平成 29 年 12 月
- ・フィリピンから障害者受け入れ(平成 29 年 2 月 28 日～平成 29 年 5 月 3 日)
- ・ADA27 リードオンユースプロジェクト(平成 29 年 7 月 21～30 日)

勝連文緒、宮城秀明、伊禮海人、桃原一人

**3、沖縄県障害者もある人もない人も共に暮らしやすい条例調整委員、随時会議有り**

**4、全国自立生活センター協議会セミナー参加**

- ・JIL 総会・研修 平成 29 年 6 月 19 日～2016 年 6 月 21 日 宮城県仙台市
- ・JIL 全国セミナー 平成 29 年 12 月 18 日～平成 29 年 12 月 20 日 福岡県
- ・JIL 九州ブロックセミナー 未定

**5、自薦ヘルパー推進協会研修**

- ・新人・中堅研修 平成 29 年 4 月 18 日～平成 29 年 4 月 20 日 神奈川県川崎
- ・中堅・代表研修 平成 29 年 9 月 20 日～平成 29 年 9 月 22 日 神奈川県川崎
- ・中堅・代表研修 平成 29 年 11 月 14 日～平成 29 年 11 月 16 日 福岡県小倉

**6、イルカ企画研修**

- ・自立生活プログラム イルカ主催講座 日程未定

**7、イルカ企画イベント (インクルーシブ社会の実現に向けて)**

- ・イルカの自立生活塾(子どもゆめ基金より助成)

平成 29 年 8 月 18～21 日開催予定

希輝々、まんた、南十字星でも同企画を実行する。

・**インクルーシブ教育における誰でも住みやすい地域づくり(宜野湾市内)**

**(宜野湾市地域づくり支援事業より助成)**

インクルーシブ教育における地域づくりフィールドワーク・宜野湾市内

・**インクルーシブ教育 聞き取り調査・セミナー・フォーラム・合宿**

**(麒麟福祉財団より助成)**

・**絵本読み聞かせ会(子どもゆめ基金より助成予定)**

1～2 月での開催を予定している。



# 平成29年度活動予算

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ



平成29年度 特定非営利活動に係る事業 活動予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人  
 沖縄県自立生活センター・イルカ

収益の部

(単位:円)

科目	項目	平成29年度予算	
I 経常収益			
1. 受取会費	会費収益	400,000	400,000
2. 受取募金	1)個人 2)団体 3)街頭募金		0
3. 受取寄付金		3,000,000	3,000,000
4. 受取補助金及び助成金等		24,000,000	24,000,000
5. 事業収益	1)アイ・エル・ピー(自立生活プログラム事業) 2)ピア・カウンセリング 3)障害者相談支援事業 4)指定特定相談支援事業 5)指定一般相談支援事業 6)障害児相談支援事業 7)権利擁護事業 8)啓蒙・啓発活動事業 9)成年後見法人後見事業 10)その他	552,000 10,000 5,100,000 2,100,000 1,000,000 700,000 100,000 1,000,000 100,000 9,600,000	20,262,000
	当期経常収益計		47,662,000



平成29年度 特定非営利活動に係る事業 活動予算書  
平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人  
沖縄県自立生活センター・イルカ  
(単位:円)

費用の部

科目	項目	平成29年度予算	
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費	1)アイ・エル・ピー(自立生活プログラム事業)	700,000	
	2)ピア・カウンセリング	300,000	
	3)障害者相談支援事業	9,200,000	
	4)指定特定相談支援事業	9,000,000	
	5)指定一般相談支援事業	4,390,000	
	6)障害児相談支援事業	4,850,000	
	7)権利擁護事業	600,000	
	8)啓蒙・啓発活動事業	1,000,000	
	9)成年後見法人後見事業	360,000	
	10)その他	2,255,000	32,655,000
2. 管理費	1)役員報酬	0	
	2)給料手当	3,800,000	
	3)法定福利費	5,100,000	
	4)福利厚生費	20,000	
	5)車両費	500,000	
	6)広報料	10,000	
	7)印刷費	50,000	
	8)慶弔費	20,000	
	9)支払保険料	300,000	
	10)研修費・旅費交通費	900,000	
	11)通信費	900,000	
	12)消耗品費	762,000	
	13)修繕費	10,000	
	14)水道光熱費	200,000	
	15)新聞図書費	80,000	
	16)支払会費	50,000	
	17)支払手数料	70,000	
	18)使用料	20,000	
	19)支払リース料	300,000	
	20)会議費	50,000	
	21)減価償却費	300,000	
	22)支払家賃	1,200,000	
	23)協力費	10,000	
	24)退職共済掛金	300,000	
	25)租税公課	45,000	
	26)雑費	10,000	15,007,000
3. 予備費			
	当期経常費用合計		47,662,000
	当期経常増減額		0
Ⅲ 経常外収益			
	1)雑収益	0	
	その他収益合計		0
Ⅳ 経常外費用			
	1)雑損失	0	
	その他費用合計		0
	当期正味財産増減額		0

